理学部数理科学科
学生向け談話会のお知らせ

次の要領で本校教員による学生向け談話会を開催します。

大学院進学を考えている学生や教員の研究内容を知りたい学生

など、多くの学生の方々の参加をお待ちしています。

日時：2017年6月7日（水）15:00–16:45

場所：京都産業大学 万有館3階 B329セミナー室

講演1 (15:00–15:45)

東谷　章弘　准教授

題目：**格子凸多面体の Ehrhart 理論と Ehrhart 多項式の特徴付けについて**

要旨：講演者が主に研究している対象は格子凸多面体とその Ehrhart 多項式である。1962年にフランスの数学教師 Eugén Ehrhart によって証明された、いわゆる『Ehrhart 理論の基本定理』は、格子凸多面体を n 倍に膨らませたものに含まれる格子点の個数を数える数え上げ函数に関する著しい性質について述べているが、その源流は『ピックの公式』にあると言える。本講演では、ピックの公式の高次元版とも解釈出来る Ehrhart 理論を概観し、近年の格子凸多面体研究の流行や今後の研究課題について紹介する。特に、格子凸多面体の Ehrhart 多項式の特徴付けについて詳しく解説し、講演者が得た最近の結果についても紹介する。

講演2 (16:00–16:45)

粕谷　直彦　准教授

題目：**４次元ユークリッド空間上のケーラーでない複素構造**

要旨：講演者が Antonio Jose Di Scala, Daniele Zuddas 両氏とともに構成した４次元ユークリッド空間上のケーラーでない複素構造の初めての例を紹介する。構成においては松本幸夫氏と深谷賢治氏によって発見された４次元球面上の種数１のアキラル・レフシェッツ束を利用することが重要なポイントとなる。実４次元トポロジー特有のものと見られてきた例が複素幾何の問題の解決に応用される様子に重点をおいて解説したい。

問い合わせ先：石田　久
伊藤　悠
itoyu@cc.kyoto-su.ac.jp